

2012年4月21日(土)開催

# AQUA SOCIAL FES!! 宮島の自然海岸で清掃活動

4月21日、腰細浦海岸で10年目を迎える海岸清掃を行った。参加者は、スタッフ込みで95名。

今回は、トヨタ自動車在全国で展開する環境活動「AQUA SOCIAL FES!!」から資金や道具などの支援を頂いた。

60名の定員に対し、約200名の申込みがあった。たくさんの申込みに感謝感謝。



## ●みんなの知らない腰細浦海岸●

当日は、薄雲が掛かり、少し風も吹く清掃活動には絶好のコンディション。

参加者は朝9時に宮島口栈橋に集合。チャーター船に乗り込み、腰細浦海岸に向け、プチクルージング。

船内では、清掃活動の趣旨や清掃方法などの説明と、宮島にちなんだ3択クイズを実施した。本土では見かけるが、宮島には無いものはなあ〜に?という質問では、



「ガソリンスタンド」「お墓」「居酒屋」それぞれ票が割れ、答えの発表と少々うんちくの紹介で「マジ!?!」「あ〜そうか」などの声が聞こえた。ちなみに答えは「お墓」である。クイズは、大鳥居や清盛に関する問題など歴史・文化・生活などから出題した。どんなクイズか興味のある方は、活動に参加していただきたい。

## ●約1時間の清掃で約228.0kgのごみを回収●

海岸に到着したら、ゴミ袋とAQUA SOCIAL FES!!提供の軍手やタオルを手にして清掃活動開始。ごみの分別は、独自のルールで、発泡スチロールの破片・カキ養殖のパイプ・ビン・カン・ペットボトル・その他の6種である。



清掃活動は約1時間。一番多かったのは、カキ養殖で使用される塩ビ製のパイプ。短いものから長いものまで45リットルのゴミ袋でおよそ15袋分もあった。

厄介なごみは、いかだのフロートに使用される大きな発泡スチロール。浜に打ち上げられたフロートは、風であおられ、岩に擦れてばらばらになり、海岸に雪のように積もっていく。プ

プラスチック製品なので、自然に戻ることも期待できない…。細くなった発泡スチロールを集めるのは至難の業である。残念なことに、これらの事業系ごみは、なかなか減らない。

一方、ペットボトルや弁当ガラ、釣り道具などは、明らかに私たちの生活ごみ。私たち自身、日ごろの生活を見なおしたり、ポイ捨てをしないように心掛ける取組みも必要だ。



参加者から、瀬戸内海なのに海の水がきれい！すごいきれいな砂浜！という声と、よく見るとごみが一杯ある、パイプの正体が分かった、などさまざまな感想が寄せられた。

瀬戸内海には、干潟や藻場など豊かな自然が残っており、私たちはその恵みをいただきながら生活している。汚れたところをきれいにする事はもちろん、そもそも汚さないようにするために、日ごろからの私たちの取組みが重要であると思いを共有した。

#### ●天気予報と空とにらめっこ…●

天気予報は午後から下り坂で、雨と強風という最悪の状況。船での送迎のため、万一の事故のことを考え、午後のプログラム「いきもの観察」「クラフト」は中止に。残念…。夏に向かって自然に触れる体験学習会を準備しているので、遊びに来てほしい。

事業名：AQUA SOCIAL FES!! 宮島の自然海岸で清掃活動		日時：2012/4/21（土） 9：00～13：00	天候：曇り
参加者：60人（大人52人 小8人）	スタッフ：35人	清掃場所：腰細浦海岸	
主催：みやじま未来ミーティング・AQUA SOCIAL FES!!事務局 共催：中国新聞社・廿日市市宮島公衆衛生推進協議会			
成果：清掃活動で集めたごみの量：228.0kg ・フロート（発泡スチロール）：71.5kg ・カキ養殖パイプ：123.0kg ・カン：1.5kg ・ビン：5.0kg ・ペットボトル：9.0kg ・その他（漁具・プラスチック片など）：18.0kg 参加者感想：		当日プログラム 9：00 宮島口栈橋集合 9：30 出航 オリエンテーション みやじま3択クイズ 10：10 腰細浦海岸到着 清掃活動開始 11：30 分別と計量 まとめ 記念撮影 12：00 昼食 12：30 乗船→ 解散	
・浜に下りた際、きれいだと感じた ・10年間続けられていることに驚いた。いくら清掃しても、ごみが無くならないことにも驚いた ・午後のプログラムがなくなったのは残念だが、安全第一でいい判断だと思う ・流木やごみの下からいろんな虫が出てきた。虫も海岸をキレイにしていることを教えてもらった		海岸の生き物観察：中止 貝がらクラフト：中止	